

科目コード L-101	基礎分野 科学的思考の基礎	単位数	必修 1単位
授業科目名	国語表現論	時間数	30時間
担当教員	本田 稔	開講時期	1年前期
授業概要			
あらゆる学びの基礎として、さらに看護職に必要なコミュニケーションスキルとして、正しく豊かな日本語表現力を養う。			
到達目標			
1. 正確な情報伝達や意見交換をするために、場面や状況にふさわしい日本語を理解し使いこなす。 2. 看護学生として必要な、レポート、論文の書き方を身につける。 3. フォーマルな場面での電話、手紙、メールなど、社会人基礎力として必要な伝達手段を身につける。 4. 看護の仕事に必要なソーシャルスキルを理解し、コミュニケーション能力を磨く。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☐ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☐ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	受講場所
第1回	より良いコミュニケーションのための正しい日本語	講義	教室1
第2回	人間関係の基本としての挨拶と自己紹介	講義	教室1
第3回	相手を尊重する気持ちを伝えるための敬語の使い方	講義	教室1
第4回	上手なメモのとり方	講義	教室1
第5回	相手に合わせた説明と、情報の整理	講義	教室1
第6回	電話の対応	講義	教室1
第7回	公的なメール	講義	教室1
第8回	手紙のマナー	講義	教室1
第9回	論文の書き方1	講義	教室1
第10回	論文の書き方2	講義	教室1
第11回	話すスキルと聴くスキル	講義	教室1
第12回	上手に断るスキル	講義	教室1
第13回	感情をコントロールするスキル	講義	教室1
第14回	問題解決のスキル	講義	教室1
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室1
準備学習等			
成績評価方法	筆記試験、レポート課題、学習姿勢をもとに、総合的評価する。評価割合は授業のなかで示す。		
テキスト 参考書	看護系学生のための日本語表現トレーニング(三省堂)		
受講要件 ・備考			

科目コード L-102	基礎分野 科学的思考の基礎	単位数	必修 2単位
授業科目名	情報科学	時間数	30時間
担当教員	益田 照雄	開講時期	1年前期
授業概要			
情報通信技術は、専門性を発揮するために必要不可欠なものである。「情報」とは何かを知り、その「活かし方」「守り方」を学ぶ。患者の情報を安全に活用し、ICTを取り入れながら、看護の実践や学問としての看護に活かす方法を学ぶ。看護における個人情報の利用と保護、情報セキュリティ、ヘルスリテラシーを向上する支援方法を学び、情報通信技術を活用する。			
到達目標			
1. 情報学の立場から、看護に関連する情報及び情報処理の活用方法と管理等の基礎的な知識について理解することができる。 2. コンピュータシステムの概要について学び、実際のコンピュータシステムの利用方法について理解することができる。 3. Excel、Word、Power Pointの基本操作ができる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☐ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☐ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	情報と情報社会:情報の定義と特徴、情報化社会	講義	教室1
第2回	倫理:情報倫理と医療倫理、患者の権利と情報、個人情報と情報の保護、コンピューターリテラシーとセキュリティ	講義	教室1
第3回	文字情報の整理	講義	教室1
第4回	文字情報の整理:Word演習	演習	情報科学実習室
第5回	文字情報の整理:Word演習	演習	情報科学実習室
第6回	情報処理:既存の情報収集方法、調査によるデータ収集方法	講義	教室1
第7回	Excel演習	演習	情報科学実習室
第8回	Excel演習	演習	情報科学実習室
第9回	Excelによる情報解析	演習	情報科学実習室
第10回	Excelによる情報解析	演習	情報科学実習室
第11回	情報の発表とコミュニケーション	講義	教室1
第12回	情報の発表とコミュニケーション:Power Point演習	演習	情報科学実習室
第13回	情報の発表とコミュニケーション:Power Point演習	演習	情報科学実習室
第14回	情報の発表とコミュニケーション:Power Point演習	演習	情報科学実習室
第15回	情報の発表とコミュニケーション:プレゼンテーション	演習	情報科学実習室
準備学習等			
主体的に取り組む、情報を安全に扱い、基本的な技術が身につくように学習しましょう。			
成績評価方法	レポート課題・演習状況により総合的評価する。評価割合は授業で示す。		
テキスト 参考書	医学書院) 看護情報学 実教出版) 30時間でマスターoffice2021		
受講要件 ・備考			

科目コード L-103	基礎分野 科学的思考の基礎	単位数	必修 1単位
授業科目名	生物学	時間数	30時間
担当教員	岡田 佳栄	開講時期	1年前期
授業概要			
生物の生命のしくみを理解し、様々な多様性により、生き残り、進化してきたことを知る。			
到達目標			
1. 生物学で使われる必要最低限の単語の意味を理解する。 2. 生物学が医療知識を理解するために必要であることを知る。 3. 日ごろから医療にかかわる情報に興味を持って少しでも理解するように心がける。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☐ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☐ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	生物の定義と細胞の構造	講義	教室1
第2回	細胞小器官の働き	講義	教室1
第3回	細胞膜の構造と物質輸送	講義	教室1
第4回	酵素の働きと代謝	講義	教室1
第5回	細胞周囲と細胞分裂	講義	教室1
第6回	細胞の文化と組織	講義	教室1
第7回	遺伝子と核酸	講義	教室1
第8回	タンパク質合成	講義	教室1
第9回	遺伝子調節	講義	教室1
第10回	突然変異と人の遺伝	講義	教室1
第11回	配偶子形成と受精	講義	教室1
第12回	受精卵の発生	講義	教室1
第13回	体内の恒常性維持	講義	教室1
第14回	免疫の仕組み	講義	教室1
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室1
準備学習等			
成績評価方法	筆記試験100点		
テキスト 参考書	医学書院 生物学 数研出版 生物図録		
受講要件 ・備考			

科目コード L-104	基礎分野 科学的思考の基礎	単位数	必修 1単位
授業科目名	看護基礎セミナー	時間数	30時間
担当教員	専任教員・認定看護師	開講時期	1年前期
授業概要			
看護学生として必要な学修をしていくための学習スキルを身に着ける。自主学習を促進するために必要なICTを活用した学習方法に浮いて学ぶ。また、看護に必要なコミュニケーション、社会人基礎力について学ぶ。専門的な知識を学習するためのスキルを早期に確立する。			
到達目標			
1. 看護学校での学習するために必要な「聴く力」「話す力」「読む力」「書く力」「調べる力」の基本を身につけることができる。 2. 看護職に必要な社会人基礎力(前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力、倫理)を理解し、自分の行動を客観的に振り返ることができる。 3. 目指す看護師像に向かって、自己の目標を決め、具体的な学習計画が立案できる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☐ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☐ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	看護学校での学習	講義	教室1
第2回	ICTを活用した学習方法 (LMS、電子教科書の活用)	講義	教室1
第3回	ICTを活用した学習方法 (eナーストレーナー、ビジュランの活用)	講義	教室1
第4回	ICTを活用した学習方法 (情報モラルと情報リテラシー)	講義	教室1
第5回	スタディ・スキル① 文章の読み方・まとめ方	講義	教室1
第6回	スタディ・スキル② プレゼンテーションスキル	講義	教室1
第7回	スタディ・スキル③ 仲間と学ぶスキル	講義	教室1
第8回	スタディ・スキル④ ディスカッション・スキル	講義	教室1
第9回	スチューデントスキル① 社会人基礎力、ポートフォリオ	講義	教室1
第10回	スチューデントスキル② 対人関係スキル・看護と倫理的感受性	講義	教室1
第11回	スチューデントスキル③ 日々の健康管理、	講義	教室1
第12回	看護キャリアとキャリア・デザイン	講義	教室1
第13回	白衣を着こなす 身だしなみを整える	演習	基礎・専門看護学実習室
第14回	感染から自分を守る、他者を守る	演習	基礎・専門看護学実習室
第15回	プレゼンテーション レポート作成 (自己分析とあなたが目指す看護師になるために)	講義	教室1
準備学習等			
看護学生として必要な学習方法を学びます。必要な教材等を確認し、主体的に学びましょう。			
成績評価方法	筆記試験、課題レポート・グループワークの参加度と内容を総合的に評価する。評価割合は授業で示す。		
テキスト 参考書	よくわかる大学での学び方第2版 Kinpodo 2018 履修要覧 看護学生のためのヘルスハンドブック、健康手帳 事例でわかる情報モラル、ビジュラン:看護情報学、わたしたちのからだと健康		
受講要件 ・備考			

科目コード L-111	基礎分野 人間の生活・社会の理解	単位数	必修 1単位
授業科目名	心理学	時間数	30時間
担当教員	渡部 美穂子	開講時期	1年前期
授業概要			
心理学理論を知ることで、基本的な人間心理と行動傾向への理解を深め、看護における様々な問題に対応する対人能力を高める。			
到達目標			
1. 人間理解の理論として一般心理学の根本原理を学習し、知覚し考え行動する人間を統合的に理解することができる。 2. 発達と適応の理論について学習し、自己理解を深めると共に患者・家族の理解のための基盤を確立する力を身につける。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☐ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☐ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	心理学とは	講義	教室1
第2回	感覚と知覚	講義	教室1
第3回	記憶	講義	教室1
第4回	思考・言語・知能	講義	教室1
第5回	学習	講義	教室1
第6回	感情と動機付け	講義	教室1
第7回	感情と動機付け	講義	教室1
第8回	性格とパーソナリティ	講義	教室1
第9回	性格とパーソナリティ	講義	教室1
第10回	社会と集団	講義	教室1
第11回	発達	講義	教室1
第12回	発達	講義	教室1
第13回	心理臨床	講義	教室1
第14回	医療・看護と心理	講義	教室1
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室1
準備学習等			
看護職は対人援助職ですので、心理過程についての基本知識が不可欠です。 基本的な知識となる科目ですので、主体的に取り組みましょう。			
成績評価方法	筆記試験(中間・単位認定試験合わせて)100点		
テキスト 参考書	医学書院 心理学		
受講要件 ・備考			

科目コード L-112	基礎分野 人間の生活・社会の理解	単位数	必修 1単位
授業科目名	人間関係論	時間数	30時間
担当教員	門嶋(もんたわ)清美	開講時期	1年後期
授業概要			
心理学で学んだ人間理解の理論を基盤にし、自己理解・他者理解を深め、人間関係形成およびカウンセリングの基礎を学ぶ。			
到達目標			
1. 自己理解と対人関係について学習し、集団組織の機能と諸問題について説明することができる。 2. 看護場面において有効な人間関係を形成できるよう、援助的コミュニケーション、カウンセリングの基礎的能力を身につけることができる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☐ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☐ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	オリエンテーション	演習	教室1
第2回	人間関係基礎論: 自己理解	講義・演習	教室1
第3回	人間関係基礎論: 他者理解	講義・演習	教室1
第4回	発達段階における人間関係	講義・演習	教室1
第5回	発達段階における人間関係	講義・演習	教室1
第6回	恋愛における人間関係	講義・演習	教室1
第7回	カウンセリングの技法①	講義・演習	教室1
第8回	カウンセリングの技法②	講義・演習	教室1
第9回	ケアとカウンセリング	講義・演習	教室1
第10回	コミュニケーション(アサーション)	講義・演習	教室1
第11回	コミュニケーション(コンセンサスゲーム)	講義・演習	教室1
第12回	アンガーマネジメント	講義・演習	教室1
第13回	ヒューマンエラー	講義・演習	教室1
第14回	チームビルディング①	講義・演習	体育館
第15回	チームビルディング①	講義・演習	教室1
準備学習等			
・双方向的授業を重視します。演習を通してたくさんの方のことを体験し感じてください。 ・学んだことを看護現場・日常生活で実践してください。 ・毎授業終了後に、次回授業に生かすために所定の用紙に授業評価を書いてもらいます。			
成績評価方法	レポート課題		
テキスト 参考書	医学書院)人間関係論		
受講要件 ・備考			

科目コード L-113	基礎分野 人間の生活・社会の理解	単位数	必修 1単位
授業科目名	社会学	時間数	15時間
担当教員	松原 千恵	開講時期	1年前期
授業概要			
社会の変化、家族関係の変化などの関連、その諸問題を理解し、看護の対象をとりまく社会環境の基礎を学ぶ。			
到達目標			
1. 人間の社会的行為・社会関係・社会集団・社会構造を学習し、社会的存在として人間を捉える力を身につけることができる。 2. 現代社会における家族やコミュニティの抱える課題を共有し、保健・医療・福祉の制度の中で看護としてどのように関わっていくか理解することができる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☐ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☐ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	社会学の考え方	講義	教室1
第2回	集団・社会制度としての家族の機能	講義	教室1
第3回	家族関係の問題	講義	教室1
第4回	高齢化と家族の問題	講義	教室1
第5回	少子化問題および教育問題	講義	教室1
第6回	医療制度と医療問題	講義	教室1
第7回	労働とその問題	講義	教室1
第8回	単位認定試験	試験	教室1
準備学習等			
社会学は、社会人・職業人として生きていこうとする人にとり基礎的な教養です。主体的、積極的に取り組みましょう。			
成績評価方法	筆記試験、レポート課題により総合的評価する。評価割合は授業で示す。		
テキスト 参考書	医学書院)社会学		
受講要件 ・備考			

科目コード L-114	基礎分野 人間の生活・社会の理解	単位数	必修 1単位
授業科目名	地域文化学	時間数	15時間
担当教員	浅田 晴久	開講時期	1年前期
授業概要			
奈良県は、北部の奈良盆地と大和高原、南部の吉野山地に分けられ、その中間を吉野川が流れている。県内各地域的な特徴と、その地域で生み出された固有の文化について紹介する。また、奈良県の文化がアジアの国々とながりを有していることも明らかにしていきたい。			
到達目標			
奈良県内各地の文化の種類とその地理的・歴史的な特徴を理解することで、地域への愛着と文化を尊重する態度を身につける。奈良県のみならず、日本や世界の文化がその土地に固有の要因から生まれていることに気づくとともに、地域が抱える問題を把握する視点の獲得も目指す。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☐ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☐ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	地図でみる奈良県の特徴	講義	教室1
第2回	奈良県の自然環境	講義	教室1
第3回	奈良盆地の生活と文化	講義	教室1
第4回	大和高原の生活と文化	講義	教室1
第5回	吉野川流域の生活と文化	講義	教室1
第6回	十津川村の生活と文化	講義	教室1
第7回	日本とアジアの文化的つながり	講義	教室1
第8回	単位認定試験	試験	教室1
準備学習等			
地域の歴史や生活について知ることが、人々を理解することにつながります。日頃から地図を眺めるようにしてください。			
成績評価方法	筆記試験の点数で評価する。		
テキスト 参考書	なし 浅田晴久『地図で読み解く奈良』かもがわ出版、2022年		
受講要件 ・備考			

科目コード L-115	基礎分野 人間の生活・社会の理解	単位数	必修 1単位
授業科目名	教育学	時間数	30時間
担当教員	元根 俊孝	開講時期	1年前期
授業概要			
「看護」以前に「看護」以外に知っておくべき、考えておくべき、学んでおくべき、身につけておくべき 「基礎分野」がある。それは、「基礎的・汎用的能力をはじめとした総合的な「人間力」である。 急激に変化し、複雑化・多様化する現代社会に対応すべく、自ら学び、判断し、行動する力、人権意識を高め 人や社会の様々な様相を把握し理解する力を、「教育学」の基礎理論をもとに、あらゆる健康状態にある 対象への看護の教育的関わりを学ぶことを通し、看護専門職を目指すための力量形成を図る。			
到達目標			
1. 教育が文化・社会の動態と人間の成長・発達に密接に関わっていることに気づき、生涯学習の必要性を理解する。 2. 看護活動における教育的なかわりについて理解する。 3. 学習者としての姿勢を学び、基礎的・汎用的能力をはじめとした総合的な人間力を身につける。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☐ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☐ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	ガイダンス、教育学を学ぶために① 社会の中の看護と教育	講義	教室1
第2回	教育学を学ぶために② 教育とは何か	講義	教室1
第3回	教育学を学ぶために③ 教育の対象	講義	教室1
第4回	教育学を学ぶために④ 社会の変動と教育・教育の組織化	講義	教室1
第5回	教育をなりたいさせるもの① 教授	講義	教室1
第6回	教育をなりたいさせるもの② 教授 訓練 看護	講義	教室1
第7回	教育をなりたいさせるもの③ 看護 発達	講義	教室1
第8回	教育の営みを考える① 学びの場	講義	教室1
第9回	教育の営みを考える② 教育目標と評価	講義	教室1
第10回	教育の営みを考える③ 教育のメディア	講義	教室1
第11回	教育の営みを考える④ 教育の担い手	講義	教室1
第12回	教育の営みを考える⑤ 教育の場の変動	講義	教室1
第13回	現代教育の課題① キャリア教育 ジェンダーとセクシュアリティ他	講義	教室1
第14回	現代教育の課題② 特別ニーズ教育・インクルーシブ教育 生涯教育他	講義	教室1
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室1
準備学習等			
教育学を学ぶ意義と重要性について考えながら、積極的な態度で受講しましょう。			
成績評価方法	筆記試験・レポート課題・学習姿勢をもとに、総合的評価する。評価割合は授業で示す。		
テキスト 参考書	医学書院)教育学		
受講要件 ・備考			

科目コード L-116	基礎分野 人間の生活・社会の理解	単位数	必修 1単位
授業科目名	芸術	時間数	15時間
担当教員	奥野 めぐみ	開講時期	1年後期
授業概要			
感性を磨き豊かな人間性と広い視野をもった創造的思考を養い、人間の文化的な側面を理解する。音楽の癒やしと体験を、看護に活用する基礎的能力を身につける。			
到達目標			
1. 音楽を通して、人間の文化的側面を理解することができる。 2. 音楽の効用及び癒しを体験する。 3. 音楽療法の実際を学び、看護に活用するための基礎的能力を身につけることができる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☐ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☐ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	音楽療法, 校歌, 式歌の練習	講義実技	会議室又は体育館
第2回	歌唱指導, 音楽療法の歴史	講義実技	会議室又は体育館
第3回	音楽療法概説, 歌唱指導	講義実技	会議室又は体育館
第4回	色々な現場での音楽療法, 歌唱指導	講義実技	会議室又は体育館
第5回	音楽療法の実践について①	講義実技	会議室又は体育館
第6回	音楽療法の実践について①	講義実技	会議室又は体育館
第7回	ホスピスケアと音楽	講義実技	会議室又は体育館
第8回	歌唱試験	実技試験	会議室
準備学習等			
しっかり声を出し、積極的に取り組みましょう。			
成績評価方法	レポート課題(40パーセント)、歌唱の実技テスト(60パーセント)により総合的評価する。		
テキスト 参考書	野ばら社) 日本の心を歌う 日本の抒情歌		
受講要件 ・備考			

科目コード L-117	基礎分野 人間の生活・社会の理解	単位数	必修 1単位
授業科目名	英会話	時間数	30時間
担当教員	米澤 俊江	開講時期	1年後期
授業概要			
社会の国際化はますます進んでおり、一般的な英会話ができることは必須になってきている。看護においても、英語力を身につけておくことは対象を理解するためにも重要であることを理解する。			
到達目標			
1. 医療に関する英会話を学習し、英語の基本的な日常会話ができる力を身につけることができる。 2. 文化圏の違い、環境の相違による思想の差異等、国際化を踏まえた看護の対象の理解を深める。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☐ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☐ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	看護英会話	講義	教室1
第2回	看護英会話	講義	教室1
第3回	看護英会話	講義	教室1
第4回	看護英会話	講義	教室1
第5回	看護英会話	講義	教室1
第6回	看護英会話	講義	教室1
第7回	看護英会話	講義	教室1
第8回	看護英会話	講義	教室1
第9回	看護英会話	講義	教室1
第10回	看護英会話	講義	教室1
第11回	看護英会話	講義	教室1
第12回	看護英会話	講義	教室1
第13回	看護英会話	講義	教室1
第14回	看護英会話	講義	教室1
第15回	まとめと単位認定試験(リスニングテスト含む)	試験	教室1
準備学習等			
しっかり声を出し、積極的に取り組みましょう。			
成績評価方法	筆記試験(リスニングを含む)100点		
観点	知識・技能:何を理解し何が出来ようになったか、主体的に学習に取り組む態度		
テキスト 参考書	医学書院)クリスティーンのやさしい看護英会話		
受講要件 ・備考			

科目コード L-118	基礎分野 人間の生活・社会の理解	単位数	必修 1単位
授業科目名	医療英語	時間数	15時間
担当教員	米澤 俊江	開講時期	2年前期
授業概要			
医療英語を学び、看護に必要な情報・海外の看護文献を通読するための基礎的知識を身につける。			
到達目標			
1. 主要な医療に関する英語を理解することができる。 2. 海外の看護文献の通読できる基礎的な力を身につけることができる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☐ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☐ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	医療英語	講義	教室2
第2回	医学英語	講義	教室2
第3回	医学英語	講義	教室2
第4回	医学英語	講義	教室2
第5回	医学英語	講義	教室2
第6回	医学英語	講義	教室2
第7回	医学英語	講義	教室2
第8回	単位認定試験	試験	教室2
準備学習等			
しっかり声を出し、積極的に取り組みましょう。			
成績評価方法	筆記試験100点		
テキスト 参考書	医学書院)クリスティーンのやさしい看護英会話		
受講要件 ・備考			

科目コード L-119	基礎分野 人間の生活・社会の理解	単位数	必修 1単位
授業科目名	体育	時間数	30時間
担当教員	櫻井 敏江	開講時期	1年前期
授業概要			
スポーツによって、健康維持・体力の向上を図るだけでなく、健全な人間性及び将来において、組織集団のリーダーとして、必要な計画性・創造性・指導力を養う。			
到達目標			
1. スポーツを通して、健康維持・体力の向上を図り、健康管理の重要性を理解することができる。 2. 人体構造機能学における骨・筋肉・神経系、循環と呼吸など、スポーツの基礎理論と関連づけて理解する。 3. スポーツを通して、組織集団の役割を理解する。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☐ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☐ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	ガイダンス、リズムダンス	実技	体育館
第2回	リズムダンス、組体操	実技	体育館
第3回	リズムダンス、組体操	実技	体育館
第4回	リズムダンス、組体操	実技	体育館
第5回	心拍トレーニング	実技	外周
第6回	心拍トレーニング	実技	外周
第7回	バトミントン、卓球	実技	体育館
第8回	バトミントン、卓球	実技	体育館
第9回	バトミントン、卓球	実技	体育館
第10回	バトミントン、卓球	実技	体育館
第11回	バレーボール	実技	体育館
第12回	バレーボール	実技	体育館
第13回	バレーボール	実技	体育館
第14回	バレーボール	実技	体育館
第15回	球技	実技試験	体育館
準備学習等			
事前に必要物品を確認し、水分・タオル・靴を必ず持参しましょう。 真剣に取り組む、事故やけがを防ぎましょう。			
成績評価方法	実技試験、学習に取り組む姿勢		
テキスト 参考書	特になし 特になし		
受講要件 ・備考			